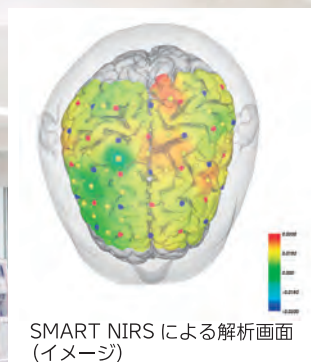




SMART NIRS による解析画面
(イメージ)

さまざまな技術を取り入れて 毎日リハビリ訓練をしています

SMART NIRS (近赤外光イメージング装置)

近赤外光を用いて脳の活動を計測する装置です。MRI 装置などに比べ機器が小型で、被験者が動いていても計測可能であるため、運動中の脳の機能をリアルタイムで解析できるのが大きな特徴です。さまざまな場面でリハビリ効果の確認や治療方針の検討などに役立っています。(上写真参照)

神経学的音楽療法

音楽の持つ力（生理的效果・心理的效果・認知的効果・身体的効果・社会的効果）を用いて、機能回復・活動の向上・維持を目的に行う治療法です。具体的な訓練方法として、音楽を用いた覚醒訓練、リズム歩行訓練、音楽的発話刺激訓練、音楽を用いた半側空間無視・注意訓練などがあります。



神経学的音楽療法

Shock wave 療法 (体外衝撃波療法)

筋や腱に衝撃波を当て、こわばった手足を一時的に柔らかくしたり、痛みを抑えたりして、さまざまな日常生活動作やリハビリ治療を行いやすくする治療法です。



Shock wave 療法

KINECT を用いた 関節可動域測定装置

Microsoft KINECT（人の動きを認識し、データとして取り込むシステム）を使って患者さんの関節可動域を測定する装置です。臨床で簡単に撮影・再生でき、画面を用いることで患者さんに分かりやすく説明することができます。



MMV 鑑-AKIRA-の画面
(第二種医療機器製造販売業許可製品)

ロボットを応用した訓練

近年はロボット技術が進み、リハビリや福祉分野での応用が始まっています。当院では上肢訓練や歩行練習に取り入れています。

ReoGo® -J

脳や脊髄の疾患により腕や手が動かしにくい方のリハビリに使用します。画面に表示されるポイントをなぞるようにアームを動かすことで、さまざまな腕の動きを反復訓練できます。患者さんの状態に合わせてモードを設定します。



ReoGo® -J

RE-Gait®

足関節の背屈（つま先を上げる動き）や底屈（地面を蹴り出す動き）をアシストすることで、ふくらはぎの筋肉を伸長させ、足の振出がスムーズになります。この機器を装着して歩行練習をすることで、歩行能力の改善を目指します。



RE-Gait®

Physibo Gait

腰部・大腿部に装着し、足の動きをアシストします。簡単に装着でき、場所を選ばずに使用できます。装着者の歩幅や歩行リズムを改善させることで、歩行能力を高める効果があるものと期待しています。



Physibo Gait

天井走行リフト

天井のリフトから下がったベルトで患者さんの身体を支えながら、歩行や動作の訓練を行う設備です。レール 1 周の長さは約 40m で、広範囲に動くことが可能です。訓練中の転倒防止に役立ち、難しい動作の訓練も安全に行うことができます。



天井走行リフト

WEL・NET Rehab Garden (屋外歩行訓練施設)

バリアフリー法に基づいて設計された角度の違うスロープや階段を使用して、歩行訓練や介助指導が行える庭園です。



四季折々の草花や眼下の瀬戸内海も楽しめます。



WEL・NET Rehab Garden